

刺しゅうノート

野草のスケッチ 2

戸塚貞子 著



カザグルマ

● 日本に自生するクレマチスの原種の一つ。花の色は淡い紫色または白で、葉の縁にギザギザがない。





ムシトリナデシコ ● 名前の由来は、葉の下から出る粘液に虫がくっついて動けなくなるため。食虫植物ではない。

ヘクソカズラ

● 紅白の愛らしい花だが、葉や茎に悪臭がある。花の形を早乙女の笠に見立て、別名「サオトメバナ」とも呼ばれる。



マルバルコウ

●他の雑草に絡み付き、秋の野原を赤く染める。朝顔のような形の小さな花を咲かせる。



春の野草

エビネ ● 名前の由来は、地表近くに連なる根茎の形をエビに見立てたことから。
キラソウ ● 人里から山地まで日当たりのよいところに幅広く自生する。地面に張り付くように咲く多年草。

